

# 政務活動報告書

会 派 名      創和・公明

年 月 日	令和 7 年    7    月    24    日    ~    令和 7 年    7    月    25    日			
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	としま区民センター(東京都豊島区) 新青森駅 ~ 大宮駅 ~ 池袋駅 ~ 東京都豊島区1泊 ~ 池袋駅 ~ 大宮駅 ~ 新青森駅			
相手方 (会議名等)	「議会のデジタルトランスフォーメーション」受講			
参加議員名	志村洋子、蛭名正樹、石山敬、木村隆洋、外崎勝康、清野一榮			
活動の概要	別紙のとおり			
	<div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 100px;"></div>			
※会議・研修資料等があれば、添付してください。				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	受講料	90,000 円	1	
	交通費	193,980 円	2	
	宿泊費	83,040 円	3	
	駐車料金	2,040 円	4	
	ガソリン代	3,900 円		様式3 No.1,2
		円		
	合計額	372,960 円		
備 考	(写真貼付等)			

# 政務活動報告書

会派「創和・公明」 志村 洋子

日 時：2025年7月24日(木)～7月25日(金)

場 所：としま区民センター 504号室 (東京都豊島区東池袋 1-20-10)

目 的：議会のデジタルトランスフォーメーションについての勉強会

講 師：湯浅 壘道 氏 (明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授)

7月25日(金) 10:00～13:00

湯浅教授は、デジタルガバナンスや情報法に関する第一人者であり、その専門性と豊富な知見から、多岐にわたるテーマについて示唆に富む講義が行われた。

今回の勉強会は、地方議会の運営を担う議員と、その実務を支える事務局職員の両方を対象としており、それぞれの立場からDXの推進について考える機会となった。

## 【勉強会内容の詳細】

本勉強会では、「議会のデジタル・トランスフォーメーション」という今日の地方議会にとって喫緊の課題に対し、以下の5つのセッションを通じて、その概念から具体的な実践方法、そして留意点に至るまで、包括的な解説が行われた。

### 1. 議会のデジタル・トランスフォーメーションとは？

まず、DXの基本的な定義と、それが地方議会においてなぜ必要不可欠であるのかについて、現状の課題と未来の展望を交えながら解説がなされた。単なるデジタルツールの導入に留まらない、議会運営全体の変革という視点が強調され

た。

## 2. デジタルなコミュニケーション

議会活動における情報公開の重要性が増す中で、住民への情報伝達や意見交換の手段としてデジタルツールをどのように活用していくべきかについて、具体例を交えながら説明があった。議会の透明性向上や住民参加の促進に繋がるデジタルコミュニケーションの可能性が示唆された。

## 3. AI の利活用

近年進化の著しい AI 技術を、議事録作成支援や議案の分析、住民からの問い合わせ対応など、議会業務の効率化や高度化にどのように役立てられるかについて、先進事例を参考にしながら議論が行われた。AI 導入における倫理的な側面や公平性の確保についても言及があった。

## 4. SNS 利活用の注意点

議員や議会が SNS を運用する際のメリットとリスクについて、具体的な事例を挙げながら注意喚起がなされた。正確な情報発信の徹底、誹謗中傷への対応、炎上リスクの回避策など、実践的なノウハウが共有された。特に、公的な立場における発言の重みと、その責任について改めて認識を促す内容であった。

## 5. 議会における個人情報保護

デジタル化の進展に伴い、議会活動で取り扱う個人情報の量と種類が増加する中で、個人情報保護法等の法令遵守はもちろんのこと、情報セキュリティ対策の強化や情報管理体制の構築の重要性が強調された。住民からの信頼を得る上

で不可欠な要素として、厳格な個人情報保護の取り組みが求められることが示された。

### 【所感と今後の展望】

今回の地方議会 DX 勉強会は、デジタル技術が急速に進展する現代において、地方議会がその役割を効果的に果たし、住民からの負託に応えていくために不可欠な知識と実践的な指針を提供する、極めて意義深いものであった。

湯淺教授による多岐にわたる専門的な知見は、参加した地方議会議員にとって、デジタル・トランスフォーメーションの必要性を改めて認識し、具体的な取り組みを推進するための大きな糧となった。特に、単なるツールの導入に終わらず、議会運営の抜本的な改革や、住民との関係性構築という視点から DX を捉えることの重要性が強調された点は、参加者の視野を広げるものとなった。

本勉強会で得られた知識や示唆が、各地方議会における具体的な DX 推進プロジェクトへと繋がり、議会のさらなる活性化と住民サービスの向上に貢献することを強く期待する。今後も、このような実践的な学びの機会が継続的に提供されることで、地方自治体のガバナンス強化に繋がることを願う。



令和7年8月18日

報告書 (政務活動費)

会 派 創和・公明  
議員名 蛸名 正樹

地方議員研修会「議会のデジタルトランスフォーメーション」を下記の通り  
受講しましたので、その概要を報告いたします。

記

- 研修名 議会のデジタルトランスフォーメーション
- 講 師 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授  
湯淺 壘道
- 場 所 豊島区民センター内 会議室
- 日 時 令和7年7月25日 (金) 10:00～13:00
- 研修内容
  - ・ 議会のトランスフォーメーションとは?
  - ・ デジタルなコミュニケーション
  - ・ AIの利活用
  - ・ SNS利活用の注意点
  - ・ 議会における個人情報保護

○ 「所 感」

今回の議員向け「議会のデジタルトランスフォーメーション」研修は導入の基礎的な考えや今後の課題、将来展望まで幅広く勉強でき内容が充実していた。

D Xや生成A Iが急速に普及浸透する中、議会の権能に照らして何が課題なのか問題となるのか、どの部分の事務処理が効率的に行われ議会の質が高まるのかなど、改めて認識、理解することができた。

今後10年でデジタル環境は大きく進展するであろうが、議員もしっかりと勉強し、そのメリットとリスクを理解、判断し議員自らの質の向上と市民の負託に答えていかなければならないと感じた研修であった。

令和7年7月28日

創和・公明 石山 敬

行政視察報告書（政務活動費）

## ■研修名

議会のデジタルトランスフォーメーション

## ■日時

令和7年7月25日（金）

## ■会場

としま区民センター

## ■講師

湯浅 壘道（中央大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科 教授）

---

## ■研修概要

本研修では、地方議会におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の意義と必要性について、実践的な視点と理論的背景の双方から学ぶ機会となった。

---

## ■主な講義内容

### 1. 議会 DX の定義と背景

- DX は単なる IT 化ではなく、組織の在り方やプロセスそのものを見直すものである。
- 地方議会が持続可能な運営体制を構築するためには DX が不可欠。

### 2. 現在の地方議会における課題

- 紙資料中心の非効率な運用
- 情報発信の不十分さ(市民への見える化の遅れ)
- コロナ禍による ICT 活用の必要性の高まり

### 3. DX 推進に向けた具体的手法

- ペーパーレス化(タブレット端末等の活用)
- オンライン会議の制度化
- 会議録・議事資料の自動作成・音声認識導入
- SNS や動画配信による議会活動の公開

### 4. 先進事例と今後の展望

- 一部自治体でのクラウド議会システム導入事例
- DX は最終目的ではなく、市民との信頼構築や政策の質の向上がゴールである

---

## ■所感

地方議会の DX は、効率化だけでなく、市民との双方向的な関係づくりや政策の透明性確保にもつながる重要な改革であると再認識した。

今後、技術導入だけでなく、議会内の意識改革や体制整備も合わせて取り組む必要があると感じた。湯淺教授の示された多角的な視点は、今後の議会改革に向けた大きな示唆となった。

# 政務活動報告書

参加者 弘前市議会議員 木村隆洋  
講義日 令和7年7月25日  
講師 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授 湯浅堯道 氏  
テーマ 議会のデジタルトランスフォーメーション

## 【研修目的】

行政のデジタル化が進む中、地方議会においても議会運営の効率化、透明性の向上、市民参加の拡大を目的としたDX推進が求められている。本研修では議会DXの意義や先進事例について学び、弘前市議会における議会運営や政策活動にどのように活かすことができるかを考えることを目的として参加した。

## 【研修概要】

講義では、DXは単なるICT機器の導入ではなく、議会運営や意思決定の仕組みそのものを見直す改革であることが示された。議会DXにより、議会中継や議事録公開などによる議会の見える化、SNSやオンラインツールを活用した市民との接点の拡大、議会資料のペーパーレス化やデータ共有による業務効率化などが期待される。また、DXを進めるためには、議員や職員のデジタルリテラシー向上と組織全体の意識改革が重要であることが説明された。

## 【所感】

今回の研修を通じ、議会DXは単なる効率化ではなく、市民に開かれた議会を実現するための重要な取り組みであると感じた。弘前市議会においても、議会情報の発信強化や資料のデジタル化など、DXの視点から議会運営を見直す余地があると思う。今後の議会活動の中で本研修の内容を活かし、市民により身近で分かりやすい議会づくりに取り組んでいきたい。

## 令和 7 年度政務活動報告

### ◇視察月日場所・内容

令和 7 年 7 月 25 日(金) 10:00～13:00

東京都 としま区民センター

「議会のデジタルトランスフォーメーション」

湯浅 壘道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授

### ◆視察内容及び所感

- 1、議会のデジタルフォーメーションとは。
- 2、デジタルコミュニケーション
- 3、AI の利活用
- 4、SNS 利活用の注意点
- 5、議会における個人情報

### 【所感】

議会におけるオンライン議会等、DX の活用により、

議員の活動範囲、活動時間の効率化が可能となる。

特に今後の DX においては、AI の活用が不可欠な時代となっている。

AI に関しては、現状すべてが正しいとは言えない場合もある為、

事実確認も必要となります。しかし、丁寧なデーターを入力により

その文章を解析し、あらゆる情報から言葉を紡ぎ出す AI の能力により様々な事業の

推進に大きな効果がある。今後さらに AI は文字のみだけでなく、様々なマスコミ報道

を読み取り、画像解析、学習支援、生活設計等に会話形式で展開されている。

今後 AI の活用に関し、自身も AI 活用においては様々な角度から活用して

いく必要性を今回の研修においてより広域に学びました。

以上

令和7年7月28日

創和・公明 清野 一栄

行政視察報告書（政務活動費）

## 1. 日時・場所

- ・ 日 時:令和7年7月25日(金)
- ・ 場 所:としま区民センター
- ・ 研修会名:「議会のデジタルトランスフォーメーション」
- ・ 主 催:廣瀬行政研究所

## 2. 講師

- ・ 氏名:湯淺 壘道(ゆあさ・はるみち) 氏
- ・ 所属:中央大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科 教授

## 3. 研修目的

本研修は、地方議会におけるデジタル技術の活用を通じて、議会の透明性・効率性・市民との関係性の向上を図るための知見を得ることを目的として開催された。

## 4. 講義内容(概要)

湯淺教授より、以下のような主なテーマについて講義が行われた

### (1) デジタルトランスフォーメーション(DX)とは何か

- ・ DXの本質は「単なるICT導入」ではなく、「組織文化や制度の変革」である。
- ・ 民間企業における成功事例を紹介しつつ、公共部門への応用可能性を解説。

### (2) 地方議会におけるDXの必要性

- ・ 人口減少・職員数の削減・市民ニーズの多様化に対応するには、議会の業務改革が不可欠。
- ・ コロナ禍を契機とした「ハイブリッド会議」や「ペーパーレス化」等の進展に注目。

### (3) 議会 DX 推進に向けた具体策

- タブレット端末の導入・議案資料の電子化
- 会議録の自動文字起こしと公開
- データに基づく政策立案支援(EBPM)との連携
- 議会活動の見える化(YouTube 配信、SNS 活用 等)

### (4) 留意点と課題

- 技術導入には「人材育成」「制度整備」「住民理解」が不可欠。
- DX 化が形骸化しないよう、「何のために行うのか」という目的意識が求められる。

## 5. 感想・所見

議会改革を進める上で、デジタル技術の導入はもはや避けて通れない時代に来ていると実感した。特に、議会の「見える化」を通じて市民との信頼関係を築くことが、今後の議会の在り方において重要である。

湯浅教授の講義は理論と実践がバランスよく織り交ぜられており、大変参考になった。今後の議会活動や改革の検討に活かしていきたい。

# 議会DXと マイナンバー

7月25日(金)

in 東京



同時開催！  
オンラインセミナー

10:00~13:00

## 議会のデジタルトランスフォーメーション

1. 議会のデジタルトランスフォーメーションとは？
2. デジタルなコミュニケーション
3. AIの利活用
4. SNS利活用の注意点
5. 議会における個人情報保護

14:00~17:00

## 住民基本台帳とマイナンバー

1. 住民基本台帳の役割
2. 戸籍法改正と住民基本台帳
3. マイナンバー制度とは
4. マイナンバーの今後の利活用
5. マイナンバーカードの今後の利活用
6. 行政のワンストップサービス、  
プッシュ型サービス



講師：湯浅 壘道

【明治大学公共政策大学院  
ガバナンス研究科教授】

1970年生まれ。青山学院大学法学部卒業。  
九州国際大学教授・副学長、情報セキュリ  
ティ大学院大学教授・副学長をへて、2021年  
より現職。2024年より明治大学学長室専門員

併任。総務省情報通信政策研究所特別研究員、全国都道府県  
議会議長会都道府県議会デジタル化専門委員会委員、日本学生支援機構CIO補佐官、科学技術振興機  
構社会技術研究開発センタープログラム総括、各自治体の個人情報保護・情報公開関係の審議会委  
員などを務める。

(株)廣瀬行政研究所

お申込みはホームページからお願いいたします。

廣瀬行研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、  
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.hirosegyoken.jp>

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

参加希望講座のチェックボックスに  
 をお願いいたします。

フリガナ	
お名前	
貴所属先	
領収書 お宛名	
ご住所	(〒      -      )
TEL	(      )      -
FAX	(      )      -
E-mail	@

7月25日(金)10:00 ~ 13:00 東京

議会のデジタルトランス  
フォーメーション

7月25日(金)14:00 ~ 17:00 東京

住民基本台帳と  
マイナンバー

※オンラインによる受講をご希望される方は、  
チェックボックスに をお願いいたします。

オンライン受講

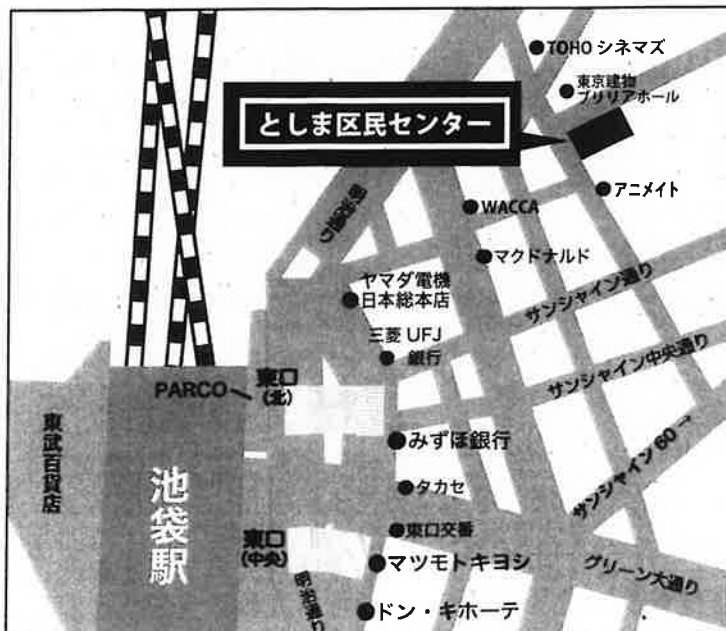
※オンライン受講ご希望の方は必ず Email をご記入ください。

★キャンセルは 7 日前までにメールまたは FAX にてご連絡ください。

※お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたは FAX にてご送付させていただきます。

※受講確認書をご覧いただき、受講料は事前にお振込みをお願いいたします。

※お一人様につき 1 つの講座の申し込みが必要です。1 つの講座の申し込みで複数人が視聴することはできません。



受講料

各講座受講 15,000 円(税込)

2 講座受講 25,000 円(税込)

開催場所

としま区民センター

JR 山手線、埼京線、東武東上線、西武池袋線

地下鉄丸の内線 / 有楽町線 / 副都心線

池袋駅東口 徒歩 7 分

お問い合わせ・事務局

(株) 廣瀬行政研究所

112-0011 東京都文京区千石 2-34-6  
TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

<https://www.hirosegyoken.jp>

# 政務活動報告書

会 派 名      創和・公明

年 月 日	令和 7 年    7    月    28    日    ~    令和 7 年    7    月    29    日			
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	防衛省(東京都新宿区) 新青森駅 ~ 東京駅 ~ 御茶ノ水駅 ~ 市ヶ谷駅 ~ 港区1泊 ~ 東京駅 ~ 新青森駅			
相手方 (会議名等)	要望活動： 陸上自衛隊統合幕僚長 吉田圭秀、防衛省 大臣官房審議官 寺田広紀			
参加議員名	志村洋子、竹浪敦、蛭名正樹、畑山聡、石山敬、木村隆洋、外崎勝康、蒔苗博英、清野一榮			
活動の概要	別紙のとおり			
	※会議・研修資料等があれば、添付してください。			
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	交通費	304,290	円	5
	宿泊費	122,310	円	6
	駐車料金	2,040	円	7
	ガソリン代	4,550	円	様式3 No.1,3
			円	
			円	
合計額	433,190	円		
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり			

# 政務活動報告書

会派「創和・公明」 志村 洋子

日 時：2025年7月28日(月)～7月29日(火)

場 所：防衛省統幕第一会議室

要望先：大臣官房審議官 寺田 広紀氏

統合幕僚長 吉田 圭秀氏

目 的：陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動

7月29日(火)10:55～11:30

2023年7月25日に、弘前市議会議員有志による防衛議員連盟を設立。

設立の趣旨と目的は、陸上自衛隊弘前駐屯地の充実・発展に寄与し、日本の平和と繁栄に貢献するとともに、災害時における市民の安心・安全を確保することである。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とした地元の強い誘致運動により、昭和43年に開庁され55年が経過した。地域と共に歩んできた駐屯地は、防衛だけでなく観光や災害時の支援・祭りへの参加・地域経済の発展からも非常に重要な存在である。

国際情勢の緊迫化が進む中、陸上自衛隊弘前駐屯地の防衛体制を維持・強化することを要望する。

## 【要望の背景】

現在の国際社会は、ロシアによるウクライナ侵略、核開発を巡るイスラエルとイランの対立、北朝鮮による弾道ミサイル発射など、武力による一方的な現状変更の試みが頻発しており、政治的・社会的な問題が複雑に絡み合い、極めて緊迫

した情勢が続いている。このような状況下で、我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増している。

### 【弘前駐屯地の役割と重要性】

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とした市民活動によって誘致され、昭和43年に開設された。その主な任務は青森県西部の防衛・警備・災害派遣に留まらず、駐屯地周辺のりんご園での援農ボランティア活動や、当市四大まつりへの参加・協力など、地域経済の観点からも地域にとって不可欠な存在となっている。

### 【今後の弘前駐屯地について】

かつては第9偵察隊などが駐屯していたが、部隊の再編により岩手県の駐屯地へ移された。こうした中でも弘前駐屯地が今後も重要な拠点として機能し続けるための維持強化を求めたい。地域との連携も深く市民活動を通して、地域の活性化や防災面でも非常に重要な意味を持ち、地域の安全保障や経済にも大きく関わるため、引き続き部隊の練度維持向上に努めて欲しい。



〒一六二一八〇五  
東京都新宿区市谷本村町五番一号  
TEL:03(3268)2121内30000

退官御挨拶  
統合幕僚長  
陸将 吉田圭秀

〒162-8801  
東京都新宿区市谷本村町五-1  
電話：03(5269)2156  
e-mail: [redacted]

防衛省 大臣官房審議官  
寺田広紀

令和7年8月22日

創和・公明 竹浪 敦

## 防衛議連による陳情・勉強会（政務活動費）

- 1 期間 令和7年7月28日～29日
- 2 会場 防衛省統幕第一会議室（7月29日）
- 3 内容 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動
- 4 概要

陳情 7月29日（10：55～11：28）

尾崎寿一議員を会長とする弘前市議会有志による防衛議員連盟16名にて、防衛省を訪問。10時55分より、大臣官房審議官の寺田広紀氏、10時18分より統合幕僚長の吉田圭秀氏と謁見した。

ロシアの武力によるウクライナ侵攻や核開発から端を発したイスラエルとイランの対立、北朝鮮による大陸弾道ミサイル発射など、不安定な国際社会の中、弘前駐屯地の重要性、これからの体制維持・強化にむけて格別の配慮をお願いする要望書を手渡しした。

令和7年8月18日

報 告 書 (政務活動費)

会 派 創和・公明  
議員名 蛭名 正樹

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟による、防衛省に対する要望活動を下記の通り行いましたので、その概要を報告いたします。

記

- 要望内容 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する陳情活動
- 日 時 令和7年7月29日 (火) 10:30～11:30
- 場 所 防衛省 空幕大会議室
- 要望相手方 統合幕僚長 吉田 圭秀 氏  
大臣官房審議官 寺田 広紀 氏
- 参加者 弘前市議会防衛議員連盟 尾崎議長他関係議員

○ 要望概要・所感

陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化について、弘前駐屯地の歴史的経過と現在も市民から信頼されていて、国土防衛の重要な役割を担っており、その重要性は、国際情勢からも益々増しているとの認識を統合幕僚長に伝えた。

統合幕僚長からは、皆さんと同じ認識と弘前市民の熱い思いは自分も感じているので、今後の部隊編成ではしっかりと考えていきたい旨の話があった。

常に、隊の編成などの情報を察知して、国そして市民、地域住民の安全、安心が守られる活動をしていくことが、必要と感じた。

令和8年3月9日

## 行政視察報告書（政務活動費）

創和・公明 畑山 聡

日 時：令和7年7月29日（火）

場 所：防衛省 統幕第一会議室

要望事項：陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

要望相手：統合幕僚長 吉田 圭秀 氏

防衛省大臣官房審議官 寺田 広紀 氏

同行議員：清野一栄、蒔苗博英、外崎勝康、木村隆洋、石山敬、蝦名正樹、  
竹浪 敦、志村洋子

### 要望概要：

弘前市議会議員有志で構成する弘前市議会防衛議員連盟は、防衛省において吉田圭秀統合幕僚長及び寺田広紀防衛省大臣官房審議官に対して陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動を行いました。要望は、弘前市議会議長から要望書を上記の両者に直接に手渡しする形で行われました。

弘前駐屯地は、青森県西部の防衛・警備・災害派遣に重要な役割を果たしています。防衛議員連盟は、今後も弘前駐屯地の体制維持・強化を求め、市民の安心と地域の発展の為に尽力してまいります。

以上

令和7年7月30日

創和・公明 石山 敬

## 行政視察報告書（政務活動費）

- 1 期 間 令和7年7月29日（火）
- 2 視 察 先 防衛省 統幕第一会議室
- 3 項 目 陸上自衛隊 弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書提出
- 4 要望相手方 統合幕僚長 吉田 圭秀 氏  
防衛省大臣官房審議官 寺田 広紀 氏
- 5 同行議員（会派 創和・公明）  
清野一栄、蒔苗博英、外崎勝康、木村隆洋、蛭名正樹、畑山聡、竹浪 敦、志村洋子

## 6 概 要

### 1 活動の概要

弘前市議会議員有志で構成する防衛議員連盟では、陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化を求める要望活動を行いました。

### 2 弘前駐屯地の役割と地域貢献

弘前駐屯地は、その主たる任務である青森県西部の防衛・警備・災害派遣にとどまらず、地域社会の幅広い分野において重要な役割を果たしています。特に、以下の点で地域に深く根ざした活動を展開しております。

援農ボランティア活動：駐屯地周辺のりんご園において労働力不足を補う支援を実施。

地域行事への参加・協力：弘前市四大まつり（弘前さくらまつり、ねぶたまつり、弘前城菊と紅葉まつり、弘前城雪燈籠まつり）に積極的に参画し、観光振興や地域経済活性化に寄与。

これらの取組みにより、弘前駐屯地は単なる防衛拠点にとどまらず、地域社会と強く結びつく「なくてはならない存在」となっています。

### 3 国防体制の見直しと弘前駐屯地への影響

令和4年12月には、新たな国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊全体の体制見直しが進めら

れています。この見直しの対象として弘前駐屯地が含まれる可能性もあり、地域としても強い関心をもって注視する必要があります。

#### 4 要望活動の実施

こうした状況を踏まえ、防衛議員連盟は、弘前駐屯地の体制を維持するとともに、さらなる強化を図るよう要望しました。

要望書は、寺田広紀防衛省大臣官房審議官と、かつて弘前駐屯地司令を務められた吉田圭秀統合幕僚長に、弘前市議会議長から直接手渡し、地域と駐屯地の強固な連携を国に訴えるものとなりました。

#### 5 結び

弘前駐屯地は、市民と共に歩み、地域の安全と発展を支えてきた誇りある存在です。私たち防衛議員連盟は、今後も体制の維持・強化を求め、市民の安心と地域の発展のため、引き続き全力で取り組んでまいります。

# 政務活動報告書

弘前市議会議員 木村隆洋

日時 令和7年7月29日

場所 防衛省

陳情項目 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

## 【活動目的】

近年、ロシアによるウクライナ侵略や中東情勢の緊張、北朝鮮による弾道ミサイル発射など、我が国を取り巻く安全保障環境は厳しさを増している。

このような状況の中で、青森県西部地域の防衛や災害対応を担う陸上自衛隊弘前駐屯地の役割は極めて重要である。

本活動は、地域防衛拠点としての弘前駐屯地の体制維持と機能強化について、防衛省に対し要望を行うことを目的として実施した。

## 【活動概要】

令和7年7月29日、弘前市議会議員有志による防衛議員連盟として防衛省を訪問し、陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書を提出した。

要望書は、防衛省統合幕僚長及び防衛省大臣官房審議官宛てに提出した。

弘前駐屯地は昭和43年に開設され、青森県西部地域の防衛・警備や災害派遣の拠点として重要な役割を果たしている。

また、駐屯地周辺のりんご園での援農ボランティアや弘前市四大まつりへの参加など、地域社会とも密接に関わりながら地域活動にも大きく貢献している。

令和4年12月には国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊体制の見直しが進められていることから、弘前駐屯地の体制維持とさらなる機能強化について、防衛省に対し要望を行った。

## 【所感】

今回の要望活動を通じて、地域防衛の拠点としての弘前駐屯地の重要性や、地域社会との関係性について改めて認識する機会となった。

安全保障環境が大きく変化する中で、地域の安全・安心を守るための体制を維持していくことは極めて重要である。

今後も、防衛政策の動向を注視するとともに、弘前駐屯地が地域防災や地域社会との連携の面でも重要な役割を果たし続けるよう、引き続き関係機関への働きかけを行っていく必要があると感じた。

## 令和7年度政務活動報告

### ◆視察月日場所・内容

令和7年7月29日(火) 11:00~12:00

防衛省

「陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動」

要望先 大臣官房審議官 寺田 広記

統合幕僚長 吉田 圭秀

参加者 弘前市議会議員有志による防衛議員連盟(16名)

### ◆視察内容及び所感

防衛省 統合幕僚長 吉田 圭秀様に

陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する 要望書の提出

#### 【所感】

通常、防衛省 統合幕僚長 吉田 圭秀様に直接お会いすることは  
なかなか難しいと思います。

しかし、かつて弘前駐屯地司令にて駐在したこともあり直接お会いし意見交換等  
できたと思います。

吉田統合幕僚長は、多忙な中帰りには参加者一人ひとりと握手をして見送って  
いただきました。深く感謝を申し上げます。

弘前駐屯地は、青森県西部の防衛・警備・災害派遣および援農ボランティア、  
弘前市の四大まつりへの参加・協力など地域経済の観点からも地域になくてはな  
らない存在となっています。

更なる強化に向けた配慮をお願いしました。

以上

## 防衛省統合幕僚長に要望

弘前市議会議員有志による防衛議連一行16名が7月29日に、防衛省統幕第一会議室に於いて、寺田広紀大臣官房審議官、吉田圭秀統合幕僚長に対し、陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に対する要望を行った。その内容は、弘前駐屯地は青森県西部の防衛・警備・災害派遣に留まらず、駐屯地周辺のりんご園での援農ボランティアや弘前市4大祭りへの参加・協力など、地域経済からの観点からも地域にとってはなくてはならない存在である。令和4年12月には国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊体制についても見直しが図られるとしているが、これまで弘前市民と歩んできた弘前駐屯地の体制を維持し、更なる強化に向けて配慮を願いたい。と要望した。

弘前市議会防衛議連からは、寺田広紀大臣官房審議官に対し、駐屯地周辺のインフラの整備やロシア、北朝鮮の問題で北方警備が最も重要との意見が出された。また、吉田圭秀統合幕僚長は平成21年から2年、第39普通科連隊長兼ねて弘前駐屯地司令も経験したこともある事から、第9偵察隊が弘前から盛岡に移動した事で元気なくなった事に触れ、弘前に対し、歴史、文化、人情味が良く永住したいと考えていた事も話されていた。

令和7年7月31日

創和・公明 清野 一栄

## 行政視察報告書（政務活動費）

1 期 間 令和7年7月29日（火）

2 視察先 防衛省 統幕第一会議室

3 項 目 陸上自衛隊 弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書提出

4 要望相手方 統合幕僚長 吉田 圭秀 氏  
防衛省大臣官房審議官 寺田 広紀 氏

5 同行議員（会派 創和・公明）

清野一栄、蒔苗博英、外崎勝康、木村隆洋、蛭名正樹、畑山聡、竹浪 敦、志村洋子

## 6 概 要

### （1）はじめに

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟では、陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持および強化を目的とした要望活動を実施した。

### （2）弘前駐屯地の重要性

弘前駐屯地は、青森県西部の防衛・警備・災害派遣といった本来任務に加え、地域社会との連携を深めてきた。

農業支援：りんご園での援農ボランティアを継続的に実施し、地域農業の労働力不足を補っている。

地域文化への貢献：弘前市四大まつりに参加・協力し、市民交流や観光振興に大きく寄与。

これらの活動を通じて、駐屯地は安全保障のみならず、地域経済・文化の面でも欠かせない存在となっている。

### （3）国防戦略の見直しへの対応

令和4年12月に閣議決定された国家防衛戦略により、自衛隊全体の体制見直しが進められています。その対象として弘前駐屯地も含まれる可能性があり、今後の動向に注視が必要である。

#### (4) 要望の内容と経過

こうした状況の中、防衛議員連盟は、弘前駐屯地の体制を守り抜き、さらに強化することを国に求めた。

要望書は、寺田広紀防衛省大臣官房審議官と、弘前駐屯地司令の経験を持つ吉田圭秀統合幕僚長に対し、弘前市議会議長から直接手渡され、地域の強い意志をお伝えした。

#### (5) 今後の取り組み

防衛議員連盟は、弘前駐屯地と市民が培ってきた信頼関係を大切にしながら、その体制維持と強化の実現に向けて、引き続き積極的な活動を行ってまいりたい所存である。

防衛省 統合幕僚長  
吉田 圭秀 様

# 要 望 書

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

## 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

武力によるロシアのウクライナ侵略、核開発から端を発したイスラエルとイランの対立、北朝鮮による大陸間弾道ミサイルの発射など、国際社会においては、政治的・社会的問題が絡み合う緊迫した情勢が続いており、我が国を取り巻く安全保障環境はより一層厳しさを増しております。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とする市民活動によって誘致し、昭和43年に開設されており、その主たる任務である青森県西部の防衛・警備・災害派遣に留まらず、駐屯地周辺のりんご園での援農ボランティアや当市四大まつりへの参加・協力など、地域経済の観点からも地域にとってなくてはならない存在となっております。

令和4年12月には国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊体制について見直しを図られるものと認識いたしております。これまで弘前市民とともに歩んできた弘前駐屯地の体制を維持し、さらなる強化に向けて格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

会長 尾崎 寿一

防衛省 大臣官房審議官  
寺田 広紀 様

# 要 望 書

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

## 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

武力によるロシアのウクライナ侵略、核開発から端を発したイスラエルとイランの対立、北朝鮮による大陸間弾道ミサイルの発射など、国際社会においては、政治的・社会的問題が絡み合う緊迫した情勢が続いており、我が国を取り巻く安全保障環境はより一層厳しさを増しております。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とする市民活動によって誘致し、昭和43年に開設されており、その主たる任務である青森県西部の防衛・警備・災害派遣に留まらず、駐屯地周辺のりんご園での援農ボランティアや当市四大まつりへの参加・協力など、地域経済の観点からも地域にとってなくてはならない存在となっております。

令和4年12月には国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊体制について見直しを図られるものと認識いたしております。これまで弘前市民とともに歩んできた弘前駐屯地の体制を維持し、さらなる強化に向けて格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

会長 尾崎 寿一



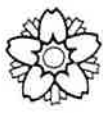
防衛省 大臣官房審議官

寺田 広紀

〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町五十一  
電話：〇三(五二六九)三二五六  
e-mail

退官御挨拶  
統合幕僚長

陸将 吉田 圭秀



〒一六二一八八〇五  
東京都新宿区市谷本村町五番一号  
TEL〇三(三二六八)三一内三〇〇〇〇

# 政務活動報告書

会 派 名      創和・公明

年 月 日	令和 7 年    10    月    24    日    ~    令和 7 年    10    月    25    日				
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	防衛省(新宿区東京都) 新青森駅 ~ 東京駅 ~ 御茶ノ水駅 ~ 市ヶ谷駅 ~ 新宿区1泊 ~ 市ヶ谷駅 ~ 御茶ノ水駅 ~ 東京駅 ~ 新青森駅				
相手方 (会議名等)	要望活動： 防衛省整備計画局長 伊藤晋哉				
参加議員名	志村洋子、竹浪敦、石山敬、木村隆洋				
活動の概要	別紙のとおり				
	※会議・研修資料等があれば、添付してください。				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額		領収書番号	支払証明書番号
	宿泊費	40,200	円	8	
	交通費	135,240	円	9	
	駐車料金	1,020	円	10	
	ガソリン代	2,000	円		様式3 No.4
			円		
			円		
	合計額	178,460	円		
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり				

# 政務活動報告書

会派「創和・公明」 志村 洋子

日 時：2025年10月24日(金)～10月25日(土)

場 所：防衛省 第一省議室

要望先：整備計画局長 伊藤 晋哉 氏

目 的：陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動

10月24日(金)16:45～17:00

令和5年7月25日に、弘前市議会議員有志による防衛議員連盟を設立。

設立の趣旨と目的は、陸上自衛隊 弘前駐屯地の充実・発展に寄与し、日本の平和と繁栄に貢献するとともに、災害時における市民の安心・安全を確保することである。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とした地元の強い誘致運動により、昭和43年に開庁され55年が経過した。地域と共に歩んできた駐屯地は、防衛だけでなく観光や災害時の支援・祭りへの参加・地域経済の発展からも非常に重要な存在である。

国際的な安全保障環境の複雑化と、それに伴う国の防衛戦略改定による自衛隊の部隊再編の動きを受け、地域防衛および市民生活に不可欠な陸上自衛隊弘前駐屯地の体制を維持・強化するため、国に対し格別の配慮を求めるものである。

## 【要望の背景】

現在の安全保障環境は、ロシアによるウクライナ侵攻の継続、中国・北朝鮮による東シナ海・太平洋での活動活発化、ミサイル発射など、我が国を取り巻く環境は極めて複雑である。

令和4年12月に国家防衛戦略が閣議決定され、全国的な自衛隊の部隊再編が進められており、弘前駐屯地もその影響を受ける可能性がある。

### 【弘前駐屯地の地域における重要性】

弘前駐屯地は、昭和43年の開設以来 長年にわたり、防衛拠点としてだけでなく、市民生活と地域社会の基盤として機能してきた。

地域防衛・災害対応として、我が国北方の防衛と、市民の平和・安全の確保を担う中核であり、特に災害発生時の迅速な救援・支援活動は市民生活の生命線でもある。

さらには地域経済への貢献として、駐屯地を拠点とする隊員およびその家族は地域経済の担い手であり、加えて、弘前四大まつりへの参加・協力は文化振興と地域活性化に不可欠な要素でもある。

市民との歴史を鑑みると、長きにわたり弘前市民とともに歩み、市民にとって「なくてはならない存在」となっているのは言うまでもない。

### 【今後の弘前駐屯地について】

かつては第9偵察隊などが駐屯していたが、部隊の再編により岩手県の駐屯地へ移された。こうした中でも弘前駐屯地が今後も重要な拠点として機能し続けるための維持強化を求めたい。

地域との連携も深く市民活動を通して、地域の活性化や防災面でも非常に重要な意味を持ち、地域の安全保障や経済にも大きく関わるため、引き続き部隊の練度維持向上に努めて欲しい。



令和7年11月7日

創和・公明 竹浪 敦

## 防衛議連による陳情・勉強会（政務活動費）

- 1 期間 令和7年10月24日
- 2 会場 防衛省 第一会議室
- 3 内容 防衛省への要望活動
- 4 概要

陳情 10月24日（16時45分～17時）

令和7年10月24日、防衛省にて弘前市、弘前商工会議所、防衛協会津軽地区連絡協議会、弘前市防衛協会会長、弘前市議会有志による防衛議員連盟にて、防衛省を訪問。担当者である整備計画局長 伊藤晋哉氏へ要望。

昨今の不安定な世界情勢の中、弘前駐屯地の重要性とこれからの体制維持・強化にむけて格別の配慮をお願いする要望書を手渡しした。

令和8年3月1日

創和・公明 石山 敬

### 行政視察報告書(政務活動費)

- 1 期 間 令和7年10月24日(金)
- 2 視察先 防衛省 第一省議室
- 3 項 目 陸上自衛隊 弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望書提出
- 4 要望相手方 整備計画局長 伊藤 晋哉 氏
- 5 同行議員(会派 創和・公明)  
木村隆洋、竹浪敦、志村洋子

### 6 概 要

弘前駐屯地は、昭和43年の開設以来、国の防衛はもとより、災害発生時の支援や四大まつりへの協力など、地域に根ざした活動を続けており、市民の安心・安全を守る上で欠かすことのできない存在です。

しかし、国家防衛戦略の改定により自衛隊の再編が進む中、駐屯地の体制が見直される可能性もあることから、これまで築いてきた地域との連携をさらに強化し、体制を維持していただくよう要望いたしました。

要望には、弘前市長をはじめ、弘前商工会議所、防衛議員連盟の議員、市民団体関係者など計22名が参加。防衛省防衛計画局体制移行室の星和彰室長に要望書を手交し、意見交換を行いました。

弘前駐屯地がこれからも地域の誇りとして、市民の安心と安全を守り続けられるよう、全力で取り組んでまいります。

# 政務活動報告書

弘前市議会議員 木村隆洋

日時 令和7年10月24日

場所 防衛省

陳情項目 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

## 【活動目的】

近年、ロシアによるウクライナ侵略の継続、中国による東シナ海や太平洋での活動の活発化、北朝鮮による弾道ミサイルの発射など、我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増している。このような状況の中、青森県西部地域の防衛や災害対応の拠点である陸上自衛隊弘前駐屯地の役割は極めて重要である。

本活動は、弘前市や弘前商工会議所など市内の関係団体と合同で、防衛省に対し弘前駐屯地の体制維持および機能強化について要望することを目的として実施した。

## 【活動概要】

令和7年10月24日、防衛省を訪問し、陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動を行った。今回の要望活動は、弘前市、弘前商工会議所、防衛協会津軽地区連絡協議会、弘前市防衛協会、青森県隊友会中弘支部、弘前市自衛隊家族会など、市内の関係団体と合同で実施された。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とした市民による誘致活動を背景に昭和43年に開設されて以来、長年にわたり我が国北方の防衛を担ってきた。また、災害発生時の支援活動のほか、弘前市四大まつりへの参加・協力など、地域社会や地域経済にとっても重要な役割を果たしている。

こうした歴史と役割を踏まえ、弘前市議会議員有志による防衛議員連盟の一員として本要望活動に参加し、弘前駐屯地の体制維持とさらなる強化について、防衛省に対し要望を行った。

## 【所感】

今回の陳情活動を通じて、地域防衛の拠点としての弘前駐屯地の重要性を改めて認識するとともに、地域と自衛隊の連携の大切さを再認識する機会となった。

安全保障環境が大きく変化する中で、地域の安全・安心を守るための体制を維持していくことは極めて重要であり、弘前駐屯地が今後も地域防災や地域活動において重要な役割を果たし続けるよう、引き続き関係機関への働きかけを行っていく必要があると感じた。

防衛省 整備計画局長  
伊藤 晋哉 様

# 要 望 書

令和7年10月24日

弘 前 市  
弘 前 商 工 会 議 所  
弘前市議会議員有志による防衛議員連盟  
防衛協会津軽地区連絡協議会  
弘 前 市 防 衛 協 会  
青 森 県 隊 友 会 中 弘 支 部  
弘 前 市 自 衛 隊 家 族 会

## 陸上自衛隊 弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

国際社会においては、ロシアによるウクライナ侵略が継続しているのをはじめ、中国による尖閣諸島周辺を含む東シナ海や太平洋などでの活動の活発化、北朝鮮による弾道ミサイルの発射など、我が国を取り巻く安全保障環境は、より一層厳しく複雑なものとなっております。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とした多年にわたる市民の誘致活動により、昭和43年に開設されて以来、長年にわたり我が国北方の防衛を担い、市民の平和と安全の確保はもとより、災害発生時の支援のほか、当市四大まつりへの参加・協力など、地域経済の観点からも市民にとってはなくてはならない存在となっております。

しかしながら、令和4年12月には国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊の体制についても再編が行われていると認識いたしております。

これまで弘前市民とともに歩んできた弘前駐屯地の体制を維持し、さらなる強化に向けて、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年10月24日

弘 前 市 市 長 櫻田 宏

弘 前 商 工 会 議 所 会 頭 今井 高志

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟 会 長 尾崎 寿一

防衛協会津軽地区連絡協議会 会 長 工藤 武重  
弘 前 市 防 衛 協 会

青 森 県 隊 友 会 中 弘 支 部 支 部 長 上月 潔

弘 前 市 自 衛 隊 家 族 会 会 長 代 行 中 山 悟  
(副会長)





防衛省  
MINISTRY OF  
DEFENSE

〒162-8801

東京都新宿区市谷本村町五十一  
電話 〇三(五二二八)三六一四  
FAX 〇三(五二二九)二一四三  
E-mail

整備計画局長

伊藤 晋哉